まとめテスト①

中1／一次方程式 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿　/50

・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
・計算は別の紙（ノート）に書く。答えだけここに書く。大問4は文で書く。
・分数の答えは分子を上、分母を下に、約分して書く。マイナスは分数の前につける。

1　次の方程式を解きなさい。（各3点）

(1) $4x + 7 = 7x - 8$

x = □

(2) $0.4x - 0.7 = 0.1x + 1.1$

x = □

(3) $-4x = 18$

x = □

(4) $5 - 3(x - 1) = 2x - 7$

x = □

(5) $\frac{x}{3} - \frac{1}{2} = \frac{x}{4} + 1$

x = □

(6) $\frac{x-1}{2} - \frac{x+2}{3} = 1$

x = □

2　次の比例式を解きなさい。（各3点）

(1) $x : 12 = 5 : 3$

x = □

(2) $(x - 1) : 4 = (x + 2) : 6$

x = □

3　次の問題に答えなさい。（各8点）

(1) みかんを生徒に配ります。1人に4個ずつ配ると6個あまり、1人に6個ずつ配ると4個たりません。生徒の人数を求めなさい。

答え □ 人

(2) 妹が分速70mで家を出発しました。その8分後に、姉が分速210mで同じ道を追いかけました。姉が出発してから何分後に妹に追いつきますか。

答え □ 分後

4　次の方程式を解くとき、最初にすることと、その理由を書きなさい。（各5点）

(1) $\frac{x+1}{4} - \frac{x-2}{6} = 1$

最初にすること ＿＿＿＿＿＿＿＿

理由 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) $0.25x - 0.5 = 0.05x + 1.1$

最初にすること ＿＿＿＿＿＿＿＿

理由 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「一次方程式」のプリント一覧がひらきます

まとめテスト①【こたえ】

中1／一次方程式 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿　/50

問	配点	正答	確認用の式（点にしない）／記述の観点	×ならこのプリント
1(1)	3点	$x = 5$	確認用　$4x - 7x = -8 - 7$	基本の計算①（整数・係数が正）
1(2)	3点	$x = 6$	確認用　$4x - 7 = x + 11$	小数のある方程式
1(3)	3点	$x = -\frac{9}{2}$	確認用　$x = -18/4$　→　約分して $-9/2$	基本の計算② （係数が負・答えが分数）
1(4)	3点	$x = 3$	確認用　$5 - 3x + 3 = 2x - 7$	かっこをはずして解く
1(5)	3点	$x = 18$	確認用　$4x - 6 = 3x + 12$	分数：分母を払う（途中式だけ） 分数：解き切る
1(6)	3点	$x = 13$	確認用　$3(x - 1) - 2(x + 2) = 6$	分数：分母を払う（途中式だけ） 分数：解き切る
2(1)	3点	$x = 20$	確認用　$3x = 12 \times 5$	比例式
2(2)	3点	$x = 7$	確認用　$6(x - 1) = 4(x + 2)$	比例式
3(1)	8点	5人	確認用　x は生徒の人数、式 $4x + 6 = 6x - 4$ みかんの数を x にした式でも、答え（人数）が合えば満点	文章題：式を立てるだけ 解の吟味
3(2)	8点	4分後	確認用　x は姉の出発後の分、式 $210x = 70(x + 8)$ 妹から数えた x でも、答え（姉の分）が合えば満点	文章題：式を立てるだけ 解の吟味
4(1)	5点	両辺×12	操作 3点　両辺に12をかけて、分母をはらう 理由 2点　分母の4と6の最小公倍数が12だから	分数：分母を払う（途中式だけ）
4(2)	5点	両辺×100 または×20	操作 3点　両辺に100をかけて、小数を整数にする 理由 2点　0.25や0.05が小数第2位まであり、10倍では整数にならないから 別解　両辺×20（$5x - 10 = x + 22$）も正解 理由「20倍で全部整数になるから」も2点	小数のある方程式

得点の記入　大問1 ＿＿/18　大問2 ＿＿/6　大問3 ＿＿/16　大問4 ＿＿/10　合計 ＿＿/50

採点（大問1〜3）

答えが合っていれば満点、ちがえば0点（部分点なし）。途中の式は確認用で、点にしない。別の解き方でも答えが同じなら満点

大問4（記述）

観点ごとに点をつける。操作3点・理由2点。観点が合っていれば得点し、同じ内容を二重に加点しない

記述の0点の例

「移項する」「x を出す」のように、分母や小数をどう消すか書いていないもの。4(2)で「10倍する」だけのものは、操作・理由とも0点

分数の答え

分数は約分した仮分数で○（約分前は×）。帯分数・小数の形でも値が同じなら○。マイナスは分数の前がきまり。分子につけた答えも○

文章題の別の置き方

みかんの数を x にした式など、別の置き方でも、答えが求められた量（人数・分）になっていれば満点

見直しの進め方

×のあった問の右のプリントを1枚やり、日をあけてもう一度この形で25分はかって解く

声かけの例

「最初に何をしてから解いた？」「分母（小数）を消すとき、整数の項にも倍をかけた？」「出た x を式に入れて確かめた？」

いちごドリル プリント